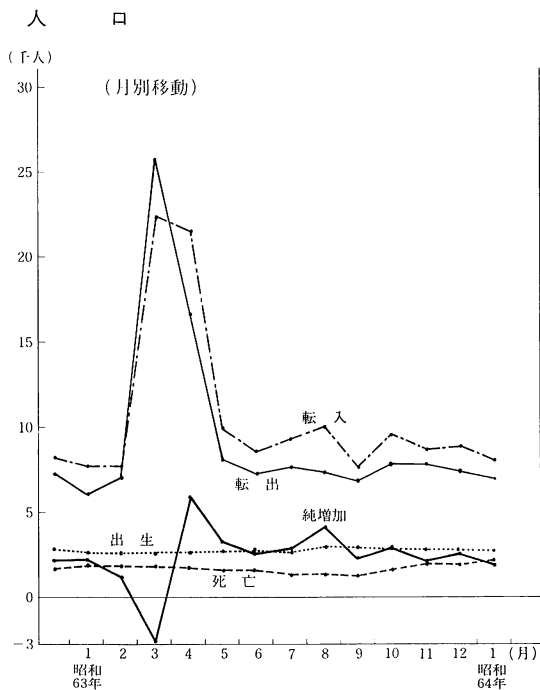
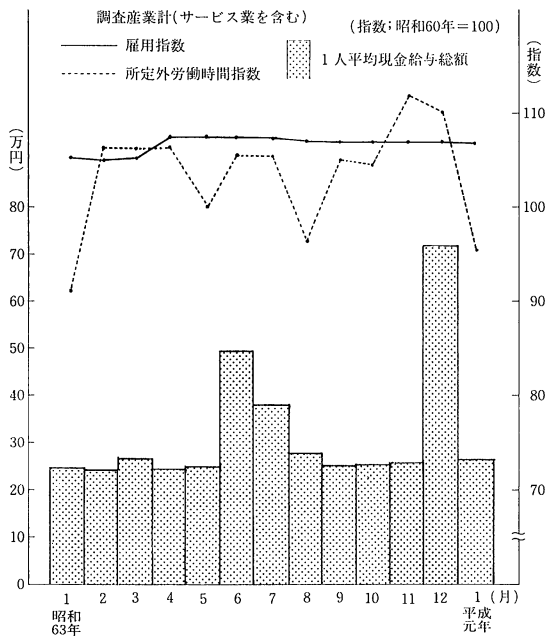


● 今月の主な動き

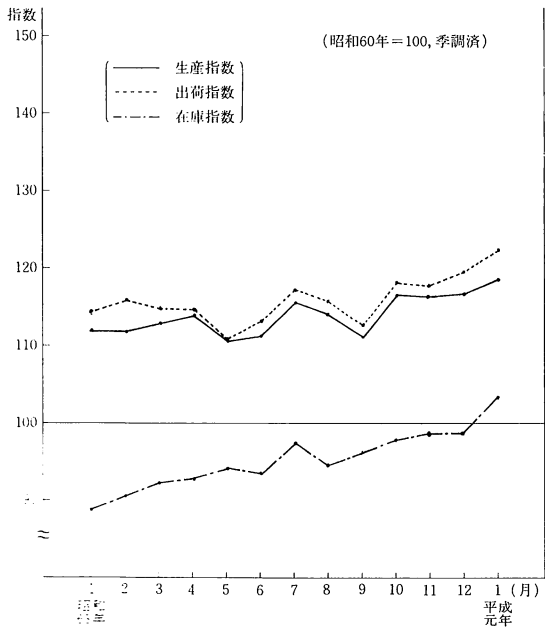
今月の主な動き



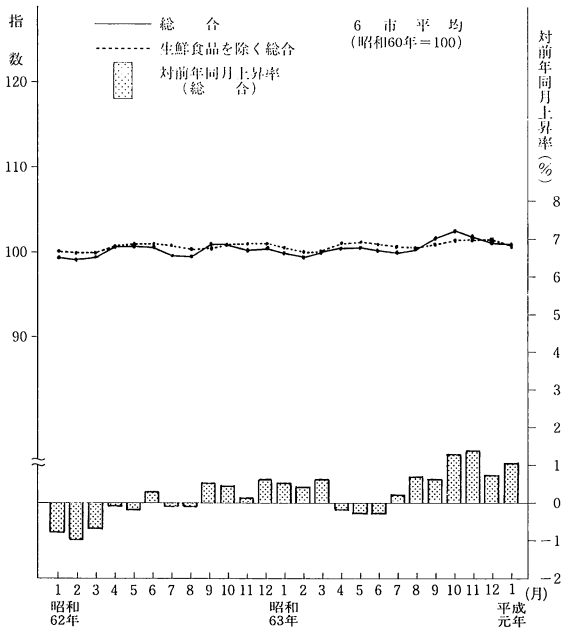
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし …………… 企画部 統計課

■ 人 口 (2月1日)

本県の人口は、1月中に1,596人増加し、2月1日現在で2,806,296人(男1,398,372人, 女1,407,924人)となった。

内訳は、自然動態で608人(出生2,497人, 死亡1,889人), 社会動態で988人(転入7,814人, 転出6,826人), それぞれ増加した。

市町村別では、増加が14市41町村, 減少が6市25町村, 増減なしが2村である。

世帯数についても、728世帯増加して、800,987世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (1月)

1. 平均賃金の推移

1月の現金給与額は、調査産業計で262,397円, 前年同月比5.6%増(前月は2.6%増)であった。

このうちきまって支給する給与は245,006円, 前年同月比2.6%増(前月は4.1%増)であった。また、きまって支給する給与のうち、所定内給与は、217,973円で前年同月比2.3%増(前月は2.0%増)であり、超過労働給与は27,033円であった。

なお、実質賃金は、前年同月比4.7%増であった。

2. 労働時間

1月の総実労働時間は162.9時間で、前年同月比1.8%減(前月は0.7%増)であった。

このうち所定内労働時間は、145.9時間で、前年同月比2.6%減(前月は0.1%増)であった。また所定外労働時間は前年同月比4.9%増(前月は7.4%増)であった。

3. 雇用の動き

1月の常用雇用の動きを前年同月比によってみると1.7%増(前月は1.8%増)であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (1月分)

本県における平成元年1月の「鉱工業指数」(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が119.2, 出荷が122.8, 在庫が103.3で、前月比は、生産が2.0%の増加, 出荷が2.3%の増加, 在庫が4.3%の増加であった。前年同月比(原指数)は、生産が6.3%の増加, 出荷が7.1%の増加, 在庫が16.0%の増加であった。

業種別に前月比をみると、生産では、非鉄金属工業、電気機械工業、鉄鋼業等が上昇し、鉱業、精密機械工業、石油・石炭製品工業等が低下した。出荷では、電気機械工業、非鉄金属工業、化学工業等が上昇し、窯業・土石製品工業、

繊維工業、精密機械工業等が低下した。在庫では、金属製品工業、鉱業、食料品・たばこ工業等が上昇し、輸送機械工業、精密機械工業、その他工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、鉱工業用生産財、建設財等が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財等が低下した。出荷では、耐久消費財、鉱工業用生産財が上昇し、非耐久消費財、その他用生産財等が低下した。在庫では、非耐久消費財、耐久消費財等が上昇し、その他用生産財、資本財が低下した。

■ 消費者物価指数 (1月)

平成元年1月の茨城県消費者物価指数は、総合で101.1(昭和60年=100)となり、前月比△0.1%の下落, 前年同月比1.1%の上昇となった。

今月上がった主な項目……果物16.2%, 魚介類3.3%, 野菜・海藻1.9%, 理美容サービス0.6%

今月下がった主な項目……衣料△6.4%, 乳卵類△5.6%, シャツ・下着△3.1%, 生地・他の被服類△0.7%

生鮮食品を除く総合は101.0となり、前月比△0.5%の下落, 前年同月比0.6%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	100.4	△0.7	0.8	保健医療	103.1	△0.1	0.2
食 料	99.2	△1.2	0.7	交通通信	100.1	0.1	△0.4
住 居	109.4	0.6	3.2	教 育	113.2	0.0	2.8
光熱・水道	87.6	0.0	△0.8	教養娯楽	102.9	1.0	1.7
家具・家事用品	98.9	△0.3	0.2	諸 雑 費	103.6	0.1	0.7
被服及び履物	97.9	△4.6	1.1	生鮮食品経路総合	100.7	△0.3	0.7